

海況・魚群速報(別府湾・国東半島沖合の海洋調査結果)

平成20年12月4日
大分県農林水産研究センター
水産試験場

県水産試験場の調査船「豊洋」による別府湾・国東半島沖合の海洋調査結果は、次のとおりである。

調査日： 12月 1-3日

【海況】

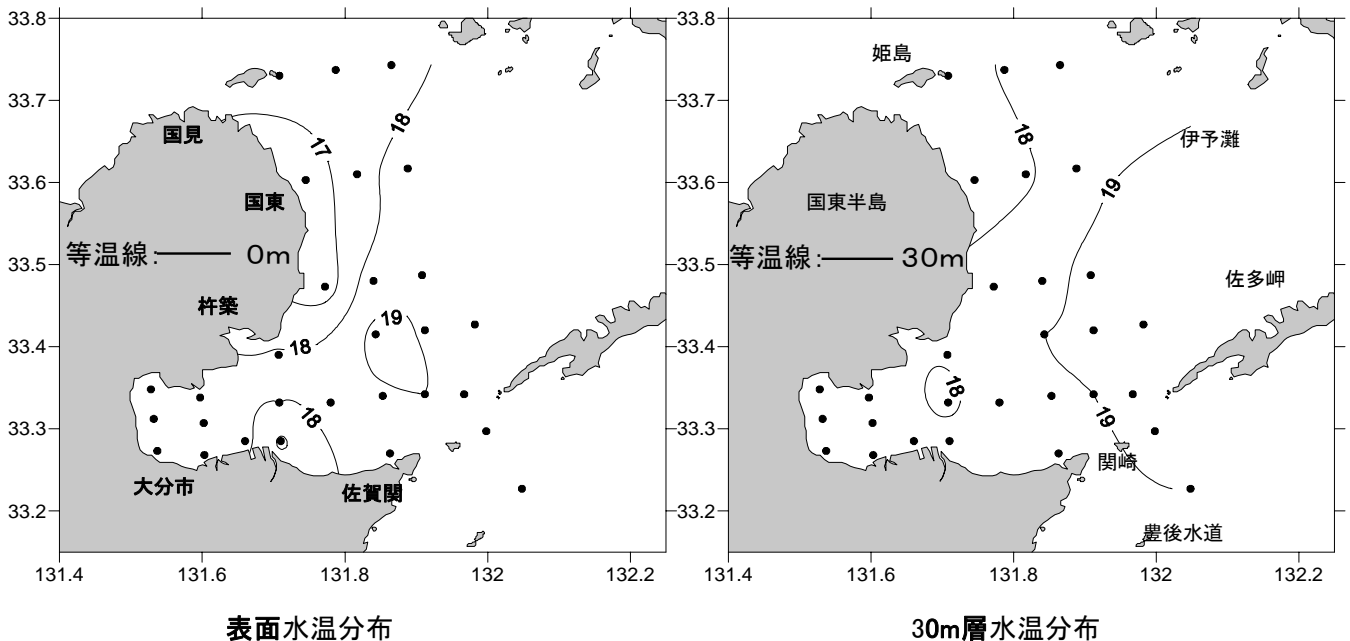
(別府湾の平均水温)

海域	水層	今月	前月差	前年差	平年差
別府湾	表面	18.2	- 2.6	+ 0.0	+ 0.5
	底層(-30m)	18.5	- 3.0	- 0.1	+ 0.7

(国東半島沖合の平均水温)

海域	水層	今月	前月差	前年差	平年差
国東半島 沖合	表面	18.0	- 3.6	- 0.2	+ 0.3
	底層(-30m)	18.6	- 2.6	+ 0.2	+ 0.8

(水温分布)



「海況概要」

水温は中層～底層でやや高め傾向。

別府湾・国東半島沖合の表面水温は16～19℃台を示し、別府湾では前年並み(±0℃)で、平年より0.5℃高め。国東半島沖合では前年並み(-0.2℃)で、平年並み(+0.3℃)であった。

水深30m層は17～19℃台を示し、別府湾では前年並み(-0.1℃)で、平年より0.7℃高め。国東半島沖合では前年並み(+0.2℃)で、平年より0.8℃高めであった。

(黒潮情報：漁業情報サービスセンター)

12月3日の観測によると、九州東岸沖の黒潮内水温は24℃を示し、前年よりも1℃高め。黒潮は都井岬、足摺岬沖ともに接岸している模様。

【魚群分布】

主な魚群の出現状況は、下表及び下図のとおりである。

s20-12号

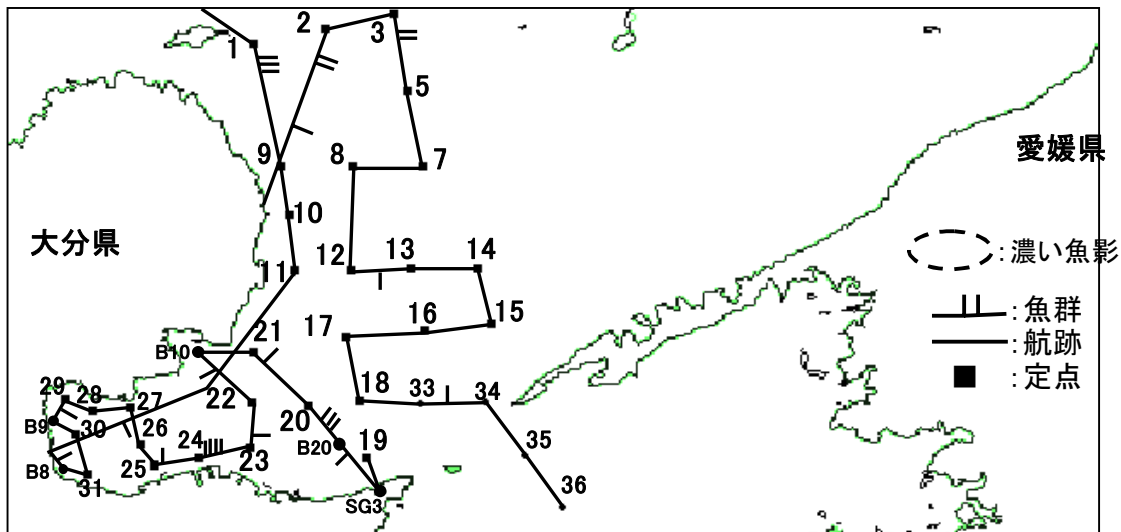
昨年同期の調査時に比べて、魚群の出現数は少なかった(但し、調査船直下の観測による範囲内)。

(魚群の出現状況)

日	時刻	魚群の状況					水温 °C	水深 m	魚の体長* cm
		位置	大きさ	出現個数	反応水深(m)*	密度			
12/1	11:00	SG3-B20	小	1	25-B	中	18.9	26	28
12/1	11:10 ~	B20-st.20	小	4	10-B	淡、中	18.8	30-45	7-28
12/1	11:51	st. 20-21	小	2	20-B	中	18.4	24	7-28
12/1	12:48	B10-st.22	小	1	10-B	淡	18.6	18	4
12/1	13:26	st. 23手前	中	1	0-20	中	17.8	50	7
12/1	13:38 ~	st. 23-24	点、小	多数	20-B	淡、中	18.6	50	0-7
12/1	14:00	st. 24-25	中	1	0-40	中	18.5	50	4-7
12/1	15:15 ~	st. 29-B9	中、小	2	25-35	中、淡	18.9	40	0-28
12/1	16:27	B8-別府	小	1	20-B	中	18.8	30	14
12/2	7:59 ~	st. 27付近	中	1	20-35	中	18.5	38	28
12/2	9:31	st. 1付近	小	3	25-30	中	17.7	45	14-28
12/3	7:49	国東-st.2	小	1	0-10	淡	17.5	35	0-4
12/3	8:01	国東-st.2	小	3	30-40	淡	18.0	40	7-14
12/3	8:54	st. 3-5	小	4	18-24	淡	18.4	47	4-10
12/3	10:49	st. 12-13	小	1	25-35	淡	19.2	65	4-28
12/3	13:33	st. 33-34	小	1	55-65	中	19.1	102	0-4

* 反応水深のうち、Bは底

* 魚群の構成主体となった魚の体長(計量魚探により算出された推定体長cm)



【クラゲ分布】

調査定点上における目視観察では、国東半島沿岸でミズクラゲが少数確認された。